

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
神経内科学		必修 (理.作) 選択 (福)	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
竹川 正純	C301	masazumi.takekawa	メールにて対応		
授業の目的・概要	主な神経症状や主要な神経疾患を学び、臨床現場で活用できる知識が得られるようにする事、各神経疾患の診断、症状、治療法、予後等を理解して活用できるようになることを目標とする。 新型コロナウイルス感染予防のため、総論と各論での、スライド学習や学習課題の提示および teams による同時双方向の遠隔事業を中心とした授業を行う。				
学習上の助言	一つの病気の事だけでなく、広い視野で病態をながめる。 リモート中心なので、わかりにくいことはすぐ調べる。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学 医学書院				
参考書	ベッドサイドの神経の診かた 田崎義昭等 南山堂				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	主な神経疾患の病態の理解と、その説明			HSU (1) ~ (6)	
②	主な神経疾患の症状と診断の理解と、その説明			HSU (1) ~ (6)	
③	主な神経疾患の治療の理解と、その説明			HSU (1) ~ (6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	序論 (1) 神経系の解剖、神経学的診断法、検査法を学ぶ。 フィードバックと意見交換：評価とアドバイスをメールで行う。	印刷教材 (スライドと教科書) での授業	中枢神経と末梢神経の違い等	6	
2	序論 (2) 続き フィードバックと意見交換：評価とアドバイスをメールで行う。	印刷教材 (スライドと教科書) での授業	神経学的診断法と検査法等	6	
3	神経症候学 (1)：意識障害、脳死、頭痛、失神、運動麻痺など フィードバックと意見交換：評価とアドバイスをメールで行う。	印刷教材 (スライドと教科書) での授業	意識障害、運動障害の分類等	6	
4	神経症候学 (2)：錐体路徴候、錐体外路徴候、不随意運動、運動失調、感覚障害など フィードバックと意見交換：評価とアドバイスをメールで行う。	印刷教材 (スライドと教科書) での授業	錐体路、錐体外路、運動失調	6	
5	神経症候学 (3)：高次脳機能障害 (失語、失認、失行) など フィードバックと意見交換：評価とアドバイスをメールで行う。	印刷教材 (スライドと教科書) での授業	失語、失認、失行の違い等	6	
6	神経症候学 (4)：高次脳機能障害 (記憶障害、注意障害、遂行機能障害) など フィードバックと意見交換：評価とアドバイスをメールで行う。	印刷教材 (スライドと教科書) での授業	記憶障害、健忘についての考え	6	
7	神経症候学 (5)：構音障害、嚥下障害、頭蓋内圧亢進、髄膜刺激症状、脳ヘルニアなど フィードバックと意見交換：評価とアドバイスをメールで行う。	印刷教材 (スライドと教科書) での授業	構音障害の治療の内容等	6	
8	神経疾患各論 (1)：脳血管障害：分類、症状など	Teams リモート	第 20 章 (173~180p) を予習・復習	4	
9	神経疾患各論 (4)：脳血管障害：診断、治療など	Teams リモート	第 20 章 (181~203p) を予習・復習	4	
10	神経疾患各論 (3)：認知症の原因、分類、症状など	Teams リモート	第 21 章 (204~223p) を予習・復習	4	
11	神経疾患各論 (4)：脳腫瘍、外傷性脳損傷、脊髄疾患など	Teams リモート	第 22 章から 24 章 (224~252p) を予習・復習	4	
12	神経疾患各論 (5)：変性疾患・脱髄疾患の分類、症状、診断など	Teams リモート	第 25 章 (253~261p) を予習・復習	4	
13	神経疾患各論 (6)：変性疾患・脱髄疾患、錐体外路の変性疾患など	Teams リモート	第 26 章 (262~274P) を予習・復習	4	
14	神経疾患各論 (7)：末梢神経障害、てんかん、など	Teams リモート	第 27 章~28 章 (275~287P) を予習・復習	4	
15	神経疾患各論 (8)：筋疾患、画像検査など	Teams リモート	第 29 章 (288~301P) を予習・復習	4	

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

試	出来ていることを中心に達成度を評価したい						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		10	80	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	10	0	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	10	0	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	0	20
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	10	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義全体の内容を理解し習得しているか、期末テストで全体の 10% の評価 試験に関しては流動的ながら実施する予定			必要なら説明と解説をする。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	1～7 回目では学習後にレポートを提出してもらい理解の具合により評価を下す。 その中で理解の具合を見ながら各々生徒にフィードバックをする。 8 回目以降はチャットを中心として理解の具合をはかる。 その理解や取り組み姿勢などをみながら評価としては 90% とする。			各人に評価とアドバイスをメールで行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	コロナ対策での支障や、生徒各人に不都合、不平等が起きないように配慮しながらその都度変化に対応する 疑問点をそのままにせず、チャットやメールを使い質問して解決する			メールやチャットを通じて質問に答え、解決する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎竹川 正純</p> <p>教員の実務経験： 内科医として 40 年の臨床経験</p> <p>実践的授業の内容： 疾患についての病態、診断、診療が分かるようになり、国家試験に合格することが目標</p> <p>感染症予防のため、Teams を使って同時双方向型遠隔授業を行う。授業時は通信容量が無制限の WIFI 環境を推薦する。 また、今後の新型コロナウイルス感染症の状況などによって再度シラバスが変更される可能性がある。</p>							